

# 2007年3月期 報告書

2006年4月1日～2007年3月31日

フィールズ株式会社 証券コード:2767



**Fields**  
**2007**



代表取締役会長 山本 英俊

## ネクスト・ステージへ。

当社は、これまでパチンコ市場の成長とともに着実に業容を拡大してきました。パチンコホールが特定メーカーの遊技機しか設置していなかった時代に、顧客ホール単位にカスタマイズされた提案営業制度を導入し、遊技機市場の流通オープン化を実現したのをはじめ、ネットや衛星放送による市場情報の提供や外部クリエイターを起用したエンタテインメント性の高い遊技機の企画など、その躍進を支えてきたのは、いつの時代も業界トレンドを先取りする私たちの「先見性」への評価でした。

そして、国民各層の余暇時間の増大とともに、エンタテインメント産業全体が多様化する今日、市場は大きな構造変化の時を迎えています。こうした変化を予見し、当社グループはパチンコ・パチスロ分野を起点に企業理念である「すべての人に最高の余暇を」提供すべく、かねてよりデジタルコンテンツの多角的利用を基幹とする「コンテンツプロバイダー」戦略を競争優位性構築の基盤と捉え、その推進に注力してきました。当期においても、ゲームソフト、映画、アニメーション、モバイル、スポーツなど各分野に積極的な投資を実施し、ゲームソフト、スポーツ・マーケティング分野においては基盤固めを終え、既に成長軌道に移行しつつあります。さらに、モバイル分野においては、新会社を設立し会員制携帯サイトの市場投入を完了したほか、グループ各社は確実にその存在感を高めています。こうした取り組みにより、フィールズグループはパチンコ分野の高い収益力を柱としたゲーミング&エンタテインメント企業としての基盤が整備されてきたと考えています。

このような背景を受け、今後は新社長がグループの中核企業であるフィールズ株式会社の経営に注力し、私がグループ経営全般への比重を高めることで、フィールズグループのさらなる事業領域拡大や、将来の持株会社化を含めた新たなステージへの挑戦を進めていきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 真の“面白さ”を創造する集団へ。

現在、パチンコ業界は規則改正の流れのなかで、パチンコホールのみならず、遊技機メーカー間においても強弱の二極化が進みつつあり、今後もその傾向はますます顕著なものになっていくと思われまます。

このような環境の下、当社は早くから業界外の優れた才能をネットワークするとともに、一次コンテンツの創出や商品化権の獲得を積極的に展開するなど、エンタテインメント性の高い遊技機の企画とそれらコンテンツの多様なメディア展開に取り組んできました。なかでも、“キラーコンテンツ”として市場の高い支持を得た「新世紀エヴァンゲリオン」は、当期においてはシリーズ機が創業以来の最高販売台数を記録するなど、事業を牽引する大きな成果に結びついています。こうした“キラーコンテンツ”の獲得および創出並びにその戦略的展開が、当社の競争優位性を一層高めていく上で非常に重要だと考えています。さらに重要なことは、著作権の持つ世界観をいかに再現するかという視点に留まらず、ユーザー目線で根源的な面白さを追求し、コンテンツの中身にまで深く踏み込んだ提案を行っていくことにあると考えています。これらの積み重ねが、魅力的な遊技機の企画・開発ひいては業界全体の活性化につながるものと考えています。

新体制はこうした取り組みを強力かつダイナミックに進めるためのフォーメーションであるとともに、これまでのトップダウン経営から社員の判断・意思が事業の大きな推進力となる組織経営へのシフトを意味しています。現在グループ全体で1,000名を超す社員の一人ひとりがブレインとして、ユーザーが求める面白さとは何かを想像し、新たな“モノづくり”に積極的に挑戦していける環境を整備することが大きな狙いです。私はこうした社員の活動を束ね、グループ経営全般を担う山本会長との連携を図りながら、企業としての全体最適を追求していきたいと考えています。

こうした考えに基づき、株主価値の一層の向上を目指してまいりますので、株主の皆様には今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



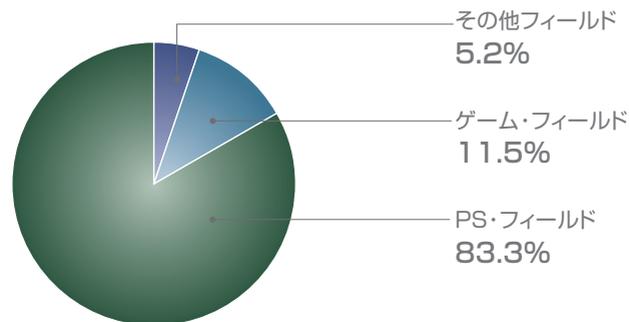
代表取締役社長 大屋 高志

## 企画・プロデュース力をコアに、多彩な収益モデルを構築。

当社グループは、エンタテインメント分野における幅広い企画・プロデュース能力をコア・コンピタンスに、グループシナジーの最大化を図りながら、良質なコンテンツの創出と保有を実現し、コンテンツの融合や多面展開などのクロスメディアビジネスを推進しています。

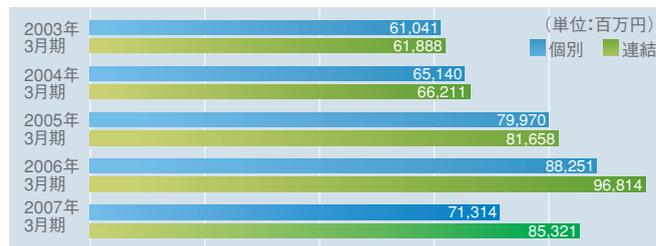
当期は、中核事業であるPS・フィールドにおいて、パチンコ遊技機の販売が好調に推移したものの、新規則対応パチスロ遊技機の販売が伸び悩む結果となりました。ゲーム・フィールドにおいて、グローバル展開が奏功したものの、画像ソフトウェア開発事業が再構築中のため一時的に受注が減少しました。また、その他フィールドでは、引き続き多彩な事業の構築を推進しています。

セグメント別売上高比率



## 財務ハイライト

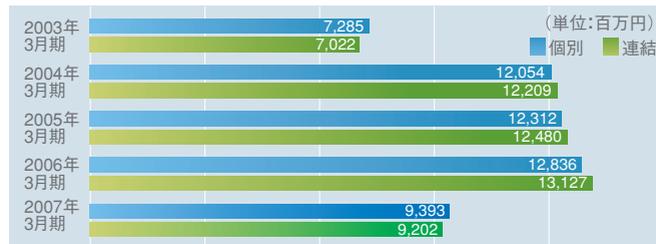
### 売上高



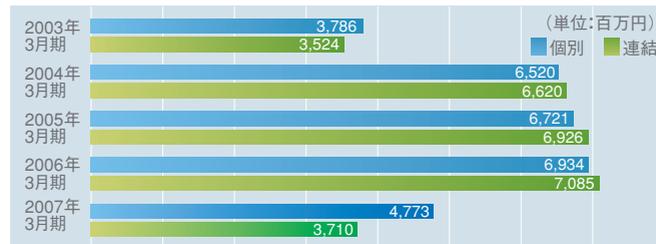
### 営業利益



### 経常利益

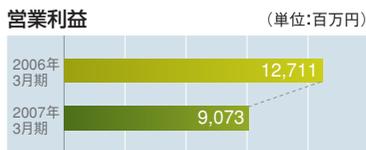
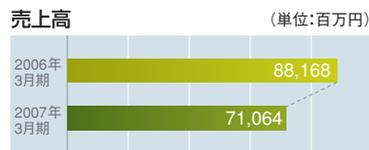


### 当期純利益



## PS・フィールド

パチンコ遊技機販売事業は、販売台数が前連結会計年度比4.9%増加と順調に推移しましたが、パチスロ遊技機販売事業において、第4四半期に投入した新規対応パチスロ遊技機の5機種の販売が伸び悩み、同22.9%減少の販売台数となりました。以上の結果、売上高71,064百万円（前連結会計年度比19.4%減少）、営業利益9,073百万円（同28.6%減少）となりました。



## 主なグループ企業

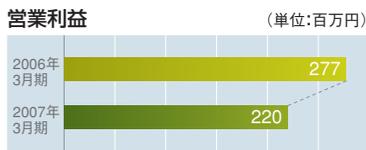
フィールズ(株)

フィールズジュニア(株)

(株)ロデオ 

## ゲーム・フィールド

(株)ディースリーのゲームソフトウェア販売事業が北米市場を中心に順調に推移しました。以上の結果、売上高は9,847百万円（同95.3%増加）となりました。営業利益は、新規連結子会社の画像ソフトウェア開発事業の再構築に伴う一時的な受注減少により、220百万円（同20.7%減少）となりました。



## 主なグループ企業

(株)ディースリー 

(株)ディースリー・パブリッシャー 

(株)エンターテインメント・ソフトウェア・パブリッシング 

D3Publisher of America, Inc (米国) 

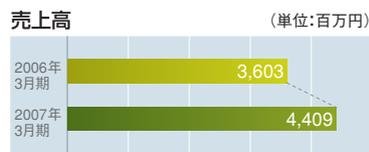
D3Publisher of Europe Ltd (英国) 

D3DB S.r.l. (イタリア)

(株)シンクアーツ 

## その他フィールド

ジャパン・スポーツ・マーケティング(株)(JSM)のライセンス事業、アスリートマネジメント事業が好調に推移しました。以上の結果、売上高は4,409百万円（同22.4%増加）となりました。しかしながら、営業損失は、JSMのフィットネスジムの業績低調とフィールズピクチャー(株)における映画、アニメなどへの投資活動により、513百万円（同21.7%減少）となりました。



## 主なグループ企業

ジャパン・スポーツ・マーケティング(株) 

ホワイトトラッシュチャームズジャパン(株) 

フィールズピクチャーズ(株) 

(株)フューチャースコープ 

ジー・アンド・イー(株) 

(株)角川春樹事務所 

※グループ企業の事業内容はP14を参照ください。

## 遊技機のエンタテインメント性を追求。

パチンコ・パチスロ遊技機の液晶画面の大型化や画像チップの高性能化に伴い、パチンコ・パチスロ遊技機上に表現されるコンテンツの重要性が高まっています。当社は、戦略的なマーケティングに基づいて、商業的に価値の高いコンテンツを創出・獲得する活動を推進しています。

パチンコ／パチスロ別販売台数推移



### パチンコ遊技機販売事業

当社のカラーコンテンツである「新世紀エヴァンゲリオンシリーズ」の第3作目「CR新世紀エヴァンゲリオン～奇跡の価値は～」が、前作を上回る市場の支持を受け、創業以来の最高販売台数である約16.9万台の販売実績を挙げたほか、(株)ビスティ製商品の販売実績が同11.5%増加するなど、有力コンテンツの商品化を推進し、販売実績を着実に伸ばすことができました。2008年3月期においては、パチンコホールが期待する大型版權(PS商品化

権)を多数保有していますが、パチンコホールおよびファンが満足する遊技機の一層のレベル向上を踏まえて、投入予定であった全商品の抜本的な見直しと開発商品の再検証および作り直しを実施していきます。そのため、上半期は投入する商品が少なくなる見込みですが、下半期および2009年3月期にかけて、パチンコホールおよびファンのニーズにあった良質な商品を提供することで業績の拡大を図っていきます。

### 主な発売タイトル

#### 第1四半期



「CRガメラエクストリームバトル」(サミー)  
©角川ヘラルド映画 ©1995角川ヘラルド映画NH  
©1996角川ヘラルド映画NHFN  
©1999角川ヘラルド映画TNHN ©Sammy



「CR真・三國無双」(ビスティ)  
©KOEI Co., Ltd. All rights reserved.

#### 第2四半期



「CR男一匹ガキ大将」(ビスティ)  
©本宮ひろ志/集英社/FIELDS  
©Sammy



「CR松浦亜弥」(ビスティ)  
©UP-FRONT AGENCY

#### 第3四半期



「CR WINK」(ビスティ)  
©polystar co., ltd



「CRサラリーマン金太郎」(サミー)  
©本宮ひろ志/集英社/FIELDS  
©Sammy



「CRシーコップ」(サミー)  
©UP-FRONT AGENCY/FIELDS  
©Sammy

#### 第4四半期



「CR新世紀エヴァンゲリオン～奇跡の価値は～」(ビスティ)  
©GAINAX・カラー/Project Eva.



「CRプロジェクトミネルヴァ」(オリンピア)  
©D3 PUBLISHERTAITO/  
IMJE/FLAT-OUT/MEDIA FACTORY

## TOPICS

### パチスロ需要に応える多彩な有力コンテンツを開発、投入。

当社は、旧規則対応パチスロ遊技機の9月末までの設置期限の中で、特に6月および7月における過去最大規模の撤去に伴う入替需要に対して、商品性の高い新規則対応パチスロ遊技機を他社に先駆ける形で発表しました。

国民的アイドルグループをコンテンツとした「モーニング娘。」、(株)カプコンの全面的な協力によって実現した「デビル メイ クライ3」、当社のキラーコンテンツである「新世紀エヴァンゲリオン～まごころを、君に～」などの有力タイトルを続々と投入しています。



「モーニング娘。」  
©UP-FRONT AGENCY/  
FIELDS



「デビル メイ クライ3」  
©CAPCOM CO.,LTD.  
2005 ALL RIGHTS  
RESERVED.  
ILLUSTRATIONS:  
Kazuma Kaneko/ATLUS  
©Sammy ©RODEO



「新世紀  
エヴァンゲリオン  
～まごころを、君に～」  
©GAINAX-カラー  
/Project Eva.

## パチスロ遊技機販売事業

「俺の空」「トゥームレイダー」など有力コンテンツを活かした旧規則対応パチスロ遊技機の投入により、販売実績は第3四半期まで概ね順調に推移しました。第4四半期は、新規則対応パチスロ遊技機への入替需要期待に合わせて、パチンコホールが計画的に導入できるよう、厳選した新規則対応パチスロ遊技機5機種を投入を同時発表し、積極的に販売に取り組みました。しかしながら、パチンコホールの資金力低下などを要因に、いずれも販売計画を達成す

ることができませんでした。

2008年3月期においては、今年9月末までの旧規則対応パチスロ遊技機の設置期限に伴う入替需要に対して、提携メーカーの豊富なラインナップの中からパチンコホールおよびファンにとって価値の高い商品を厳選して集中的に投下し、下半期においても有力な商品を安定的に提供することで拡販を目指していきます。

## 主な発売タイトル

### 第1四半期



「ルーニー・テューンズ:  
バック・イン・アクション」(オリンピア)  
TM&©Warner Bros. Entertainment Inc.(s06)  
Produced under license by  
Cross Media International, LLC



「キングオブマウス」(オリンピア)  
TM&©Warner Bros. Entertainment Inc.(s06)  
Produced under license by  
Cross Media International, LLC



「ロード オブ ザリング」(ビステイ)  
©MMV New Line Productions, Inc. All Rights Reserved. The Lord of the Rings: The Return of the King and the names of the characters, items, events and places therein are trademarks of The Saul Zaentz Company d/b/a Tolkien Enterprises under license to New Line Productions, Inc.



「トゥームレイダー」(ビステイ)  
©2008 Core Design Ltd. Lara Croft and Tomb Raider are trademarks of Core Design Ltd. All rights reserved. Eidos and the Eidos logo are trademarks of the Sci Entertainment Group. All rights reserved.



「ロッキーバルボア」(ビステイ)  
ROCKY™ ©1976-2006  
METRO-GOLDWYN-MAYER STUDIOS,  
INC. ALL RIGHTS RESERVED.



「ドカベン」(ロデオ)  
©水島新司 ©Sammy ©RODEO

### 第4四半期



「空手バカ一代」(オリンピア)  
©梶原一騎・つのだじろう/講談社



「GTO」(ビステイ)  
©藤沢とおる/講談社



「プレミアムダイナマイト」(ロデオ)  
©Mike Tyson licensed by CMI LLC  
©FEG-K-1/FIELDS  
©Sammy ©(C)RODEO



「魁!!男塾」(ロデオ)  
©宮下あきら/藤英社・東映アニメーション  
©Sammy  
©RODEO



「名探偵ホームズ」(ビステイ)  
©RAI-TMS

## グローバル&マルチプラットフォーム戦略を推進。

ゲーム・フィールドをコンテンツのクロスメディア事業における重要なセグメントと位置づけ、国内向けゲームソフト販売に加え、北米・欧州市場を中心とする海外事業に約2年前から投資を開始しています。グローバルコンテンツを活用したワールドワイドでの事業展開を更に強化しながら数多くのユーザーに楽しんでいただける商品の販売を行っていきます。

### TOPICS

thinkArts

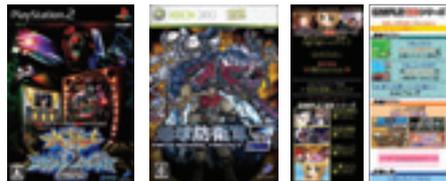
#### 画像ソフトウェア開発のための体制を整備。

当期、画像ソフトウェア開発市場に本格参入するために、(株)シンクアーツを新規に連結しました。同社は、当社グループ各社との連携を深め、ゲームソフトウェア開発およびパチンコ・パチスロ機用の画像ソフトウェア開発を推進していきます。

### 日本

#### 収益源の多元化による 安定的な基盤を確立。

当社とのシナジービジネスである「新世紀エヴァンゲリオン」などのパチンコ・パチスロ遊技機のシミュレーターソフトや、新たなプラットフォームを中心とした「SIMPLEシリーズ」の販売などにより、エンタテインメント性の高いゲームソフトの販売に注力いたしました。モバイル配信事業においては、ゲームソフト販売事業と連動したコンテンツサイトの充実とともに、新たにリッチゲームコンテンツの配信を開始し、携帯ゲームユーザーの開拓を進めました。

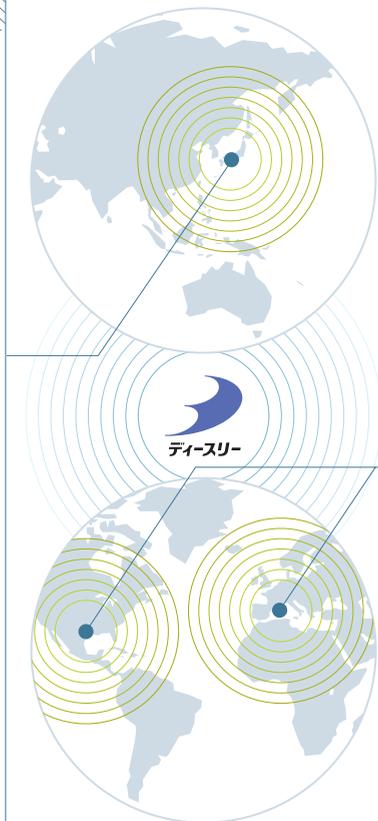


「必勝パチンコ★パチスロシリーズ」  
新世紀エヴァンゲリオン

©Bisty  
©GAINAX/Project Eva.  
・テレビ東京  
©D3 PUBLISHER

「地球防衛軍3」  
©2006 D3 PUBLISHER  
©2006 SANDLOT

モバイルサイト



ダイセイ

### 欧米

#### グローバル&ローカル戦略を展開。

地域特性を考慮したローカルコンテンツを戦略的に展開するとともに、グローバルコンテンツの第1弾として「Flushed Away」を北米・欧州で発売しました。今後は、2007年秋、投入予定の「dark Sector」や北米の人気アニメの商品化権を利用した新規タイトルなど、グローバルコンテンツの積極



展開を図っていきます。また、欧州向けの独自タイトルの企画開発を開始し、事業展開の強化を図っていきます。



「NARUTO」  
NARUTO ©2002  
MASASHI KISHIMOTO  
Clash of Ninja 2 ©2003 TOMY  
Ninja Council 2 ©2004 TOMY



「Flushed Away」  
Flushed Away ©2006 DreamWorks Animation L.L.C. and Aardman Animations Ltd.  
Flushed Away™ 2006 DreamWorks Animation L.L.C.  
Flushed Away™, and its associated characters and names are trademarks or registered trademarks of DreamWorks Animation L.L.C. and used under license.

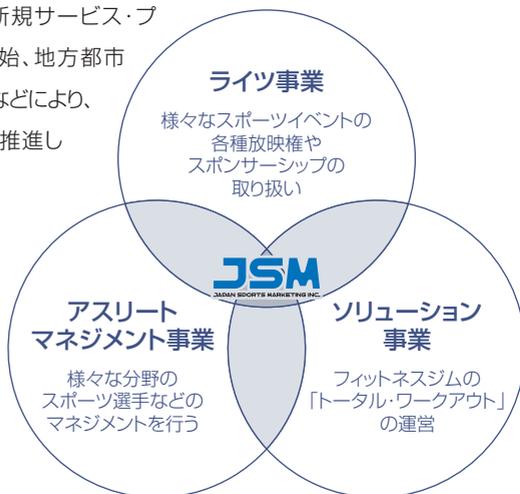
# コンテンツ市場への多彩なアプローチを展開。

スポーツ・エンタテインメントから、書籍・映画・音楽におけるメディアアミックス展開、映画・アニメーションなどのコンテンツ創出、そしてモバイルコンテンツまで、多彩なアプローチを展開しています。各社が有する商業的に付加価値の高いコンテンツをパチンコ・パチスロ遊技機、ゲームソフトなどに有効活用し、グループの競争優位性を高めています。

## スポーツ・エンタテインメント事業を再構築

ジャパン・スポーツ・マーケティング(株)は、柱となる3つの事業を展開し、2005年の経営統合後、約1年5ヵ月をかけて事業の再構築を図ってきました。当期は、ライツ事業、アスリートマネジメント事業が概ね計画通りに推移したものの、ソリューション事業のフィットネスジムのトータル・ワークアウト三田店を耐震上の問題で閉鎖したことや、新規出店が遅れたことなどにより、計画を達成しませんでした。2008年3月期

については、新規サービス・プログラムの開始、地方都市への新規出店などにより、収益の改善を推進していきます。



## TOPICS



### モバイルコンテンツ分野を開拓

携帯電話というメディアを活用したコンテンツビジネスとコミュニティビジネスを展開する(株)フューチャースコープを設立しました。2007年2月には、様々なパチンコ情報の総合コンテンツを提供するモバイルサイト「フィールズモバイル」(NTTドコモ公式サイト)のサービスを開始しました。今後は、このサービスの会員増加に向け、携帯キャリアの拡大や新規コンテンツの充実を図っていくと同時に、携帯SNS(ソーシャル ネットワーキングサービス)によるコミュニティサービスの提供を予定しています。



## TOPICS



### 一次コンテンツの創出に向けて

グループ全体を牽引するキラーコンテンツの創出を目的として、映画、アニメーションおよびコンテンツファンなどへの投資を行うフィールズピクチャーズ(株)を新規に連結しました。現在、様々な企業とのパートナーシップ構築を進めており、今後、映画、アニメーション、コミックなど多面的な新規投資案件の開拓を積極的に行い、一次コンテンツの創出を加速させ、早期収益化の実現を目指していきます。

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 2006年3月31日現在	当連結会計年度 2007年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>69,879,772</b>	<b>46,144,689</b>
現金及び預金	15,777,313	17,902,518
受取手形及び売掛金	46,385,995	18,523,292
たな卸資産	1,568,986	2,972,540
繰延税金資産	526,855	1,517,242
その他	5,769,846	5,286,686
貸倒引当金	△ 149,225	△ 57,592
<b>固定資産</b>	<b>17,676,761</b>	<b>19,936,868</b>
有形固定資産	4,689,155	5,756,417
無形固定資産	2,752,383	4,036,178
投資その他の資産	10,235,222	10,144,272
投資有価証券	6,991,655	6,216,967
長期貸付金	296,238	104,747
敷金保証金	2,298,879	2,464,950
その他	442,485	1,266,249
繰延税金資産	360,424	363,638
貸倒引当金	△ 154,461	△ 272,280
<b>資産合計</b>	<b>87,556,534</b>	<b>66,081,557</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>42,526,511</b>	<b>18,865,169</b>
買掛金	34,869,095	9,094,526
短期借入金	730,000	2,230,000
1年内返済予定長期借入金	214,668	917,750
1年内償還予定社債	110,000	120,000
未払法人税等	3,733,977	2,032,419
賞与引当金	25,000	25,000
役員賞与引当金	—	98,000
その他	2,843,769	4,347,473
<b>固定負債</b>	<b>4,007,730</b>	<b>4,379,696</b>
社債	490,000	370,000
長期借入金	366,997	1,238,852
退職給付引当金	162,648	195,112
役員退職慰労引当金	607,100	—
預り保証金	2,380,985	2,575,731
<b>負債合計</b>	<b>46,534,242</b>	<b>23,244,865</b>

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 2006年3月31日現在	当連結会計年度 2007年3月31日現在
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	1,610,739	—
<b>資本の部</b>		
資本金	7,948,036	—
資本剰余金	7,994,953	—
利益剰余金	22,726,469	—
その他有価証券評価差額金	735,622	—
為替換算調整勘定	6,470	—
資本合計	39,411,552	—
負債、少数株主持分及び資本合計	87,556,534	—
<b>純資産の部</b>		
株主資本	—	40,886,683
資本金	—	7,948,036
資本剰余金	—	7,994,953
利益剰余金	—	24,943,694
評価・換算差額等	—	228,431
その他有価証券評価差額金	—	214,822
為替換算調整勘定	—	13,609
新株予約権	—	15,907
少数株主持分	—	1,705,668
純資産合計	—	42,836,691
負債純資産合計	—	66,081,557

(注) 会計処理の変更

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は41,115,115千円であります。

また、連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結貸借対照表の純資産の部については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。

(企業結合に係る会計基準等)

当連結会計年度から「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会 平成15年10月31日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準第7号)並びに「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準適用指針第10号)を適用しております。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2005年4月1日~2006年3月31日	2006年4月1日~2007年3月31日
売上高	96,814,364	85,321,144
売上原価	67,077,197	56,072,618
売上総利益	29,737,167	29,248,525
販売費及び一般管理費	17,389,011	20,303,549
営業利益	12,348,156	8,944,975
営業外収益	828,495	439,008
営業外費用	48,966	181,446
経常利益	13,127,685	9,202,537
特別利益	218,451	110,527
特別損失	311,254	1,086,070
税金等調整前当期純利益	13,034,882	8,226,994
法人税、住民税及び事業税	6,588,353	5,058,713
法人税等調整額	△383,530	△625,331
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△255,935	83,388
当期純利益	7,085,994	3,710,224

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2005年4月1日~2006年3月31日	2006年4月1日~2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,164,786	5,293,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,224,610	△ 4,772,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,540,544	1,488,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,037	32,727
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	2,449,668	2,042,426
現金及び現金同等物の期首残高	13,326,256	15,777,313
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	1,388	188
現金及び現金同等物の期末残高	15,777,313	17,819,928

## 連結株主資本等変動計算書 (2006年4月1日~2007年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2006年3月31日残高	7,948,036	7,994,953	22,726,469	38,669,459	735,622	6,470	742,093	—	1,610,739	41,022,292
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△1,388,000	△1,388,000	—	—	—	—	—	△1,388,000
役員賞与	—	—	△105,000	△105,000	—	—	—	—	—	△105,000
当期純利益	—	—	3,710,224	3,710,224	—	—	—	—	—	3,710,224
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	△520,800	7,138	△513,661	15,907	94,928	△402,825
当連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,217,224	2,217,224	△520,800	7,138	△513,661	15,907	94,928	1,814,399
2007年3月31日残高	7,948,036	7,994,953	24,943,694	40,886,683	214,822	13,609	228,431	15,907	1,705,668	42,836,691

貸借対照表

(単位:千円)

科目	前事業年度 2006年3月31日現在	当事業年度 2007年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	64,224,724	36,253,059
固定資産	18,079,916	21,256,261
有形固定資産	3,911,388	5,245,492
無形固定資産	997,317	2,576,733
投資その他の資産	13,171,210	13,434,034
資産合計	82,304,640	57,509,320
<b>負債の部</b>		
流動負債	39,925,732	12,758,046
固定負債	3,136,600	2,749,611
負債合計	43,062,332	15,507,658
<b>資本の部</b>		
資本金	7,948,036	—
資本剰余金	7,994,953	—
利益剰余金	22,563,695	—
その他有価証券評価差額金	735,622	—
資本合計	39,242,308	—
負債資本合計	82,304,640	—
<b>純資産の部</b>		
株主資本	—	41,786,839
資本金	—	7,948,036
資本剰余金	—	7,994,953
利益剰余金	—	25,843,850
評価・換算差額等	—	214,822
その他有価証券評価差額金	—	214,822
純資産合計	—	42,001,662
負債純資産合計	—	57,509,320

損益計算書

(単位:千円)

科目	前事業年度 2006年4月1日~2006年3月31日	当事業年度 2006年4月1日~2007年3月31日
売上高	88,251,762	71,314,702
売上原価	61,682,867	46,164,048
売上総利益	26,568,894	25,150,654
販売費及び一般管理費	14,071,454	16,150,772
営業利益	12,497,439	8,999,882
営業外収益	350,637	407,792
営業外費用	11,906	13,990
経常利益	12,836,170	9,393,684
特別利益	364,023	89,824
特別損失	621,569	749,299
税引前当期純利益	12,578,624	8,734,209
法人税、住民税及び事業税	6,120,130	4,272,116
法人税等調整額	△476,119	△311,061
当期純利益	6,934,613	4,773,154
前期繰越利益	1,313,502	—
中間配当額	694,000	—
当期末処分利益	7,554,115	—

(注)会計処理の変更  
(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)  
当事業年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。  
なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は42,001,662千円であります。  
また、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表は、改正後の財務諸表等規則により作成しております。

株主資本等変動計算書 (2006年4月1日~2007年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金					
2006年3月31日残高	7,948,036	7,994,953	7,994,953	9,580	15,000,000	7,554,115	22,563,695	38,506,685	735,622	735,622	39,242,308
当事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	△1,388,000	△1,388,000	△1,388,000	—	—	△1,388,000
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△105,000	△105,000	△105,000	—	—	△105,000
役員賞与	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
別途積立金の積立	—	—	—	—	5,000,000	△5,000,000	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	—	4,773,154	4,773,154	4,773,154	—	—	4,773,154
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△520,800	△520,800	△520,800
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	5,000,000	△1,719,845	3,280,154	3,280,154	△520,800	△520,800	2,759,353
2007年3月31日残高	7,948,036	7,994,953	7,994,953	9,580	20,000,000	5,834,270	25,843,850	41,786,839	214,822	214,822	42,001,662

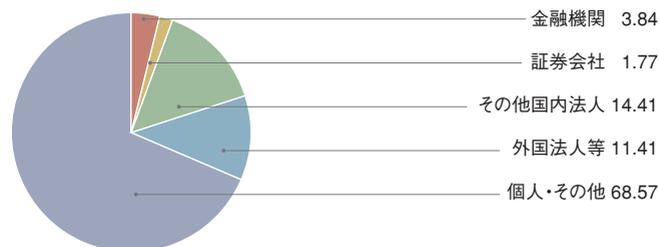
### 株式状況

発行可能株式総数	1,388,000株
発行済株式総数	347,000株
株主数	14,075名

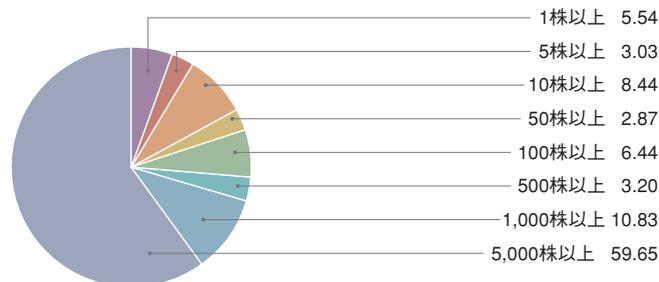
### 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
山本 英俊	112,200	32.33
山本 剛史	40,000	11.53
サミー株式会社	27,500	7.93
有限会社ミント	16,000	4.61
オールピーシー デクシア インベスター サービスズ トラスト ロンドン レンディング アカウント	5,960	1.72
日本証券金融株式会社	5,316	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,550	1.31
ステートストリートバンク アンドトラストカンパニー	4,018	1.16
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	3,936	1.13
イクシス シーアイビー	3,800	1.10

### 所有者別分布状況(%)



### 所有株数別分布状況(%)

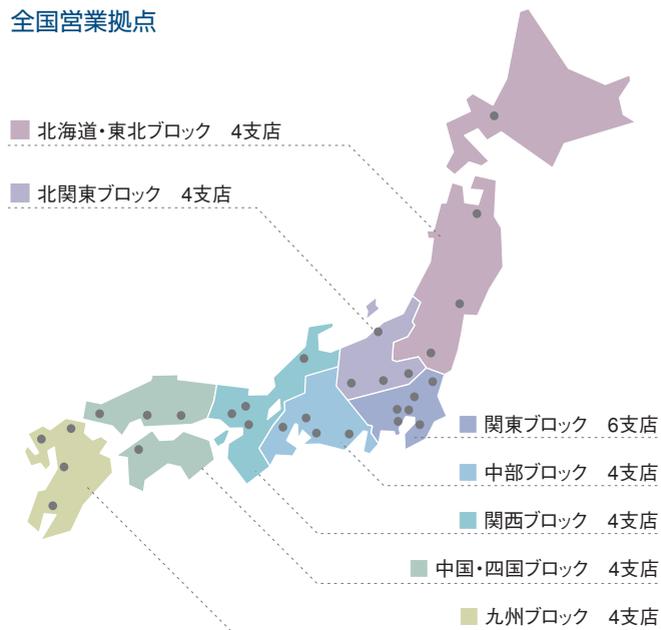


## 会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英訳名: FIELDS CORPORATION)		
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」		
設立	1988年6月 (1983年に東洋商事の名で事業を開始)		
本社所在地	〒150-0044 東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー		
事業内容	1) 遊技機の企画開発 2) 遊技機の仕入、販売 3) キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 4) 映像ソフトの企画開発、販売		
資本金	79億4,803万円		
従業員数	1,022名 (連結)		
連結対象会社 (3月31日現在)	ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社 フィールズジュニア株式会社 フィールズピクチャーズ株式会社 株式会社フューチャースコープ 株式会社ディースリー (注) 他9社		

(注)  
株式会社ディースリー・パブリッシャーは、2006年4月より持株会社である「株式会社ディースリー」に移行しています。

## 全国営業拠点



## 当社ホームページのご紹介

業績情報やプレスリリースなど、最新の情報を随時発信しています。  
ぜひご活用ください。



TOPページ

TOPページアドレス  
<http://www.fields.biz>



IRページ

IRページアドレス  
<http://www.fields.biz/ir/j>

## 主要グループ会社一覧

### PS・フィールド

#### 株式会社ロデオ



当社はパチスロ機のトップメーカー、サミー(株)のグループ会社であるロデオに資本参加し、その総発売元となっています。サミーグループの高い開発力と、当社の有力商品化権および企画開発力を融合したコラボレーションを積極的に推進しています。



#### フィールズジュニア株式会社

全国で約1,200名の大学生を登録管理し、パチンコ・パチスロ遊技機の納品設置業務を担当しています。また、全国約1万5,000店舗のパチンコホールを対象に設置機種や入客状況などのマーケット調査も実施し、新機種の企画開発などにフィードバックしています。



### その他フィールド

#### ジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社

<http://www.jsm.jp>



スポーツイベントのプロデュースや放映権ビジネスをはじめとするスポーツ・マーケティングやアスリートマネジメント、フィットネスジムの運営など、広範なスポーツ・エンタテインメント事業をグローバルに取り組んでいきます。



#### ホワイトトラッシュチャームズジャパン株式会社

<http://www.whitetrashcharmsjapan.com>



ハリウッド女優をはじめ多くのファッションリーダーたちに愛されているアメリカ西海岸発のアクセサリブランドです。今後は、ますます商品ラインナップを充実させていきます。



#### フィールズピクチャーズ株式会社

<http://www.fieldspictures.co.jp/>



映画やアニメーションなどの有力コンテンツの創出を目的として事業を開始しました。パチンコ・パチスロのみならずゲームなど「デジタルコンテンツ」を軸としたマルチユース化を図り、当社グループの一次コンテンツの創出を担っていきます。

### ゲーム・フィールド

#### 株式会社ディースリー (証券コード4311:JASDAQ)

<http://www.d3i.co.jp>



ゲーム・パブリッシャーとして、日本、北米、欧州の事業会社で構成される持株会社体制のもと、ワールドワイドに事業を展開。グループ各社との緊密な連携により、欧米市場における商品化権取得活動の活発化、コンテンツプロバイダー事業の強化、およびゲームソフトのより迅速な商品企画・開発・販売に取り組んでいます。



#### 株式会社シンクアーツ

<http://www.thinkarts.jp/>

thinkArts

パチンコ・パチスロ遊技機用画像ソフトウェア開発およびゲームソフト開発を行います。グループ各社と連携し、価値の高いデジタルコンテンツを作りこむ体制を着実に構築していきます。

#### 株式会社フューチャースコープ

<http://www.futurescope.jp/>



モバイルエンタテインメントの可能性を追求し、“もっと便利で楽しい”生活スタイルの提案を行う会社として2006年10月に設立。フィールズの有する幅広いコンテンツを活用し、様々なエンタテインメントサービスとコミュニティサービスの実現を目指しています。

#### ジー・アンド・イー株式会社

<http://www.g-e.jp/>



(株)SANKYO、サミー(株)、フィールズ(株)の3社の共同資本により設立された、日本初、業界初の総合エンタテインメント企業のための人材育成スクールです。業界の基礎知識からビジネススキル向上、最前線の技術・知識を体系的に学習することができます。



#### 株式会社角川春樹事務所

<http://www.kadokawaharuki.co.jp/>



出版、映画、音楽など多方面にコンテンツ展開するメディアミックス戦略の先駆者として知られています。当社は同社が保有するコンテンツのマルチユースに関して共同で事業展開すると同時に、同社の各種コンテンツ開発能力を活用して一次コンテンツの創造、一次キャラクターの創出を図っていきます。

## 株主メモ

事業年度末日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 同事務取扱所 〒168-0063 (連絡先・送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	JASDAQ
公 告 方 法	電子公告掲載URL <a href="http://www.fields.biz">http://www.fields.biz</a> (事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

### お知らせ

#### 株式に関するお手続き用紙のご請求について

住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## フィールズ株式会社

〒150-0044

東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー

お問い合わせ先 [ir@fields.biz](mailto:ir@fields.biz)